

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成30年 4月17日(火)

2 調査対象 第6学年児童14名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語A、国語B 算数A、算数B 理科)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A(主として知識に関する問題)、国語B(主として活用に関する問題)はともに、おおむね全国平均を上回りました。

算数A(主として知識に関する問題)、算数B(主として活用に関する問題)、理科はともに、おおむね全国平均と同程度でした。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 家で予習・復習やテスト勉強などの自学学習において、教科書を使いながら学習していますか。

課題が見られた項目

- 新聞をよんでいますか。
- 家で学校の授業の予習・復習をしていますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、おおむね全国平均と同程度または上回る状況でした。しかし、詳しく分析すると、国語Bと算数A・B、理科に改善可能な箇所が見られました。そこで、本校では今後次の3点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 目的に応じて資料を読んだり、書いたりする学習活動の充実
- ・ ペアにとどまらず、能動的に全体で話し合い、学び合う授業の設定
- ・ その日の学習内容と家庭学習の連動

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で保護者の皆様にご協力をお願いいたします。

- 家庭学習について
 - ・ 福島県より配布された(1月)「家庭学習スタンダード」のリーフレットや、各学年の家庭学習(自学学習)の内容を確認し、予習、ドリル学習・参考書等による取り組み状況を積極的に称賛してください。
- 家庭での生活について
 - ・ 新聞や情報誌など活字のある資料を話題とした家族の会話を積極的に行ってください。